

障害福祉サービス事業所の工賃アップの取組について

障がい者支援課

1 平成 30 年度の工賃実績について

平成 30 年度の障害福祉サービス事業所（就労継続支援 B 型事業所）利用者の月額平均工賃は 16,130 円（前年度比 2.2%増）となり、10 年連続で前年度の月額平均工賃を上回った。（全事業所の 64%に当たる 169 事業所で前年度より増額。）

なお、工賃アップの取組を開始した平成 18 年度と比べて、事業所数は 2.9 倍、工賃支払総額は 4.0 倍となり、障がい者の就労の場は着実に拡大している。

年度	H18 (a)	H27	H28	H29 (b)	H30 (c)	H29 比 (c/b)	H18 比 (c/a)
事業所数	92	238	244	254	264	103.9%	286.9%
工賃支払総額	千円 251,243	千円 797,628	千円 873,988	千円 944,852	千円 1,010,120	106.9%	402.0%
月額平均工賃	円 10,548	円 14,591	円 15,246	円 15,787	円 16,130	102.2%	152.9%
(参考) 全国の 月額平均工賃	円 12,222	円 15,033	円 15,295	円 15,603	—	—	—

【工賃の高い事業所等の好事例】

- ・地元木材（檜）を活用した製品の製造を行い、全県 1 位となる月額平均工賃 76,625 円を支給。（対前年度比 9,640 円増）（木曾町）
- ・地元産大豆を活用した豆腐や豆乳、おからの製造販売を行い、全県 2 位となる月額平均工賃 45,670 円を支給。（安曇野市）
- ・弁当製造を新たに開始して、顧客への配達まで一貫して実施したことにより、前年比 12,113 円増（85%増）となる 26,351 円を支給。（上田市）
- ・受託作業の見直しを行い、金属仕分け等高単価の作業を導入したことで、前年比 14,855 円増（141%増）となる 25,374 円を支給。（松本市）
- ・農業分野などの施設外就労に積極的に取り組んだことにより、前年比 9,496 円増（76%増）となる 21,984 円を支給。（松本市）

2 令和元年度の取組（支援方針）について

- 利用者の特性に応じた仕事の確保、自主製品の販路拡大を図るため、各事業所や民間企業を訪問して、共同受注などの就労機会の拡大、新規販路の開拓等を支援する地域連携促進コーディネーターを県内 4 地域に 1 名ずつ配置。

- 事業所運営に経営的な感覚を取り入れるため、民間の専門家派遣を行うほか、先進事業所の取組や民間企業の経営分析の手法を学ぶセミナーを年2回開催。
- 異業種間の連携強化を図るため、長野県セルフセンター協議会に農業分野への就労拡大を支援する農業就労チャレンジコーディネーターを配置して、事業所と農家・農業法人とのマッチングを行う。また、農業就労の現場で技術支援を行う農業就労チャレンジサポーター（全県で73名登録）を派遣。
- 本年度からの取組として、県内の他の事業所のモデルとなるような工賃向上や就労機会の拡大に関する新たな取組に対して補助金を交付する福祉就労拡大モデル構築事業を実施。
- 本年度からJA松本ハイランドに専任コーディネーターを配置し、農家と事業所をつなぐマッチング体制強化モデル事業を実施。